



AJEL

日本ラテンアメリカ学会

会 報

2008年11月28日



AJEL

No. 97

1. 理事会報告
 - 第124回理事会
2. 第30回定期大会開催について
3. 研究部会開催案内
4. 国際交流
5. 事務局から

1. 理事会報告

○第124回理事会

日 時：2008年9月27日(土)14：00～16：40

場 所：上智大学2号館10階2-1015a会議室

出席者：二村(理事長)、飯島、浦部(書記)、
落合、岸川、小池、田中、谷

欠席者：石橋、狐崎、星野、村上

<報告事項>

(1)理事長

・日本学術会議からさまざまな情報がメールで届いているが、本学会に関係がありそうなものについてのみ各理事に伝達している(二村)。

(2)年報編集

・『年報』第29号の来年6月発行に向けて作業中である。投稿希望が少ないのがやや気がかりである(小池)。

(3)会報編集

・『会報』第97号の11月発行に向け作業を進める(落合)。

(4)ホームページ、メーリングリスト

・メーリングリストの業務に携わるアルバイトを雇用し、業務を開始した(岸川)。

(5)研究部会

・次回の東日本研究部会を12月20日(土)13時より上智大学で開催する(浦部)。

・次回の中部日本研究部会を12月13日(土)に中部大学名古屋キャンパスで開催する(田中)。

(6)事務局

- ・寄贈図書が2件あった(谷)。
- ・事務局において現在、担当理事の私物(パソコン)を利用して業務を行っているが、今後、学会で購入した備品を使用していくことになるため、関連の備品利用規程を作成することとした(谷)。

<審議事項>

(1)運営委員を次のとおり決定した。

- ・事務局：田村梨花、村瀬幸代
- ・年報：久野量一、禪野美帆
- ・東日本研究部会：矢澤達宏、倉田量介
- ・中部日本研究部会：杓谷茂樹、中川智彦
- ・ホームページおよびメーリングリスト：(ホームページ)尾尻希和、(メーリングリスト)箕輪茂

(2)2009年度定期大会の実行委員長を鈴木茂会員とすること、また現在の理事会に開催校所属の者がいないため、浦部理事を理事会代表の実行委員とすることが承認された。

(3)入会希望者5名(林和宏、杉山知子、野中モニカ、板垣サラゲバラ、Patricia Rosales Sierra)、退会希望者3名(田所清克、山下暁美、桑野(林)真紀)が承認された。

(4)新会員名簿を2009年度に発行すること、実務作業は事務局と飯島理事の連携により進めることが承認された。

(5)事務局業務を円滑に行うため、今後、その一部を担う委託業者に関する情報収集に努めていくことが承認された。

(6)FIEALC/CELAOに対する山田睦男、小泉潤二両会員からの協力要請に関し、『会報』に記事を掲載するなどの協力をを行うことが承認された。

(7)11月8日(土)に開催される地域研究コンソーシアム年次集會に二村理事長が出席すること、それに必要な経費を学会から拠出することが承認された。

(8)11月22日(土)に開催される地域研究学会連絡協議会の総會に石橋理事(石橋理事の出

席が不可能な場合は狐崎理事)が出席することが承認された。

- (9)佐藤悦夫会員から提出された「日本メキシコ友好関係400周年公開フォーラム」への学会としての共催要請に対し、予算、人員を学会から出さないという条件で共催することが承認された。
- (10)地域研究学会連絡協議会より依頼のあったニューズレター原稿に関し、「参加学会の横顔」については二村理事長が、「活動状況報告、2009年前半の催事情報」については会報担当理事が執筆することが承認された。
- (11)「年報」、「会報」のバックナンバーが大量にあり、その保管がかなりの金銭的・事務的負担になっているため、各号3セットを永久保存したうえで、「会報」については処分すること、「年報」については、在庫部数を事務局で確認したうえで、次回総会にて理事長より過去の経緯詳細を説明して処分を提案することとなった。また、「年報」を販売する際の送料の徴収に関する基準が不明瞭であったため、今後は実費を徴収することになった。
- (12)次回理事会は2008年2月に開催予定とし、日時、場所等については今後調整することになった。

(「会報」編集部補遺：第124回理事会後、新木秀和会員に会報担当運営委員を、高橋百合子会員に西日本研究部会運営委員を委嘱することが、持ち回り理事会にて承認された。)

2. 第30回定期大会開催について

第30回定期大会は2009年6月6日(土)、7日(日)の両日にわたって東京外国語大学府中キャンパスで開催されます。研究報告をご希望の方は、2009年1月30日(金)までに、氏名、所属、報告の標題(必要に応じて、地域と分野も)を明記して下記までお申し込みください。なお、科研費補助金による共同研究など、個別のパネルの設定を希望する場合は、代表者および報告者の氏名、所属、パネルの標題(必要に応じて、各自の報告の標題)を明記してお申し込みください。また、2009年4月24日(金)必着で600字程度の報告要旨もしくはパネルの趣旨説明をお送りくださいますようお願い申し上げます。事務処理を円滑に進めるため、できるだけEメールをご利用ください。

(宛先)shigeru.suzuki@tufs.ac.jp
〒183-0833 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学外国語学部
鈴木茂研究室気付
日本ラテンアメリカ学会
第30回大会実行委員会

(Eメールの場合はタイトルを「ら米学会報告希望(氏名)」とし、郵便の場合は封筒に「ら米学会報告希望」と朱書きして下さい。)

*大会報告を行うには会員資格が必要です。
非会員の場合は、報告申し込みと同時に入会申し込み手続きを行って下さい。

3. 研究部会開催案内

下記のように各研究部会の研究会が開催されます。皆様、ふるってご参加ください。

《東日本部会》

日時：2008年12月20日(土)13:00~17:00

場所：上智大学四谷キャンパス2号館10階、2-1015a会議室

発表者・発表題目：

1. 齋藤亜子(上智大学)

「メキシコ、オアハカ州の地方政治に関する一考察—先住民居住地における住民の政治参加」

2. 吉川恵美子(昭和女子大学)

「コロンビア演劇人来日を振り返って—市民グループによる文化交流事業の成果を考える」

3. 千代勇一(上智大学・院生)

「コカの代替開発プロセスにおける諸問題—コロンビア・ボリバル県南部の事例を中心に」

連絡先：浦部浩之 urabe@dokkyo.ac.jp

《中部日本部会》

日時：2008年12月13日(土)14:00~17:00

(メーリングリストで13:30~15:30とご連絡しましたが、訂正いたします)

場所：中部大学名古屋キャンパス(JR中央本線 鶴舞駅名大病院口(北口)下車すぐ) 510講義室

発表者・発表題目：

1. 川田玲子(名古屋短期大学非常勤講師)

「メキシコの「聖フェリーペ・デ・ヘスス崇拝」近年の動向ーミチョアカン州の事例より」

2. 金澤雅子(中部大学大学院)

「ネオ・ムデハル様式出現に関する考察ーメキシコ プエブラ市の事例」

連絡先：杓谷茂樹

shakuyas@intl.chubu.ac.jp

中川智彦

m-nkgw@chukyogakuin-u.ac.jp

《西日本部会》

日時：2009年1月10日(土)13：30～17：30

場所：神戸大学(場所とプログラムの詳細は、メールとホームページで改めてお知らせいたします)

連絡先：村上勇介

ymurakam@cias.kyoto-u.ac.jp

4. 国際交流

CELAOのニューデリー大会について

2008年12月3日～5日に、CELAOニューデリー大会が開催されます。

CELAO(ラテンアメリカ研究アジア・オセアニア審議会 Consejo de Estudios Latinoamericanos de Asia y de Oceania)は、2003年9月に設立されました。国立民族学博物館と大阪大学で開催された、FIEALC 2003 OSAKA(Federacion Internacional de Estudios sobre America Latina y el Caribe 第11回ラテンアメリカ・カリブ海研究国際連盟研究大会)に際して、アジア太平洋地域のラテンアメリカ研究者のネットワークを築き研究者間の交流を促進するために、FIEALC参加者の間でCELAOの設立が合意されたものです。CELAOの最初の大会は、2005年7月14～16日にオーストラリアのメルボルンでラトロープ大学主催のもとに開かれ、第2回は2007年6月21～23日に、韓国ラテンアメリカ研究会主催によりソウルで開かれました。今回は第3回となります。

CELAOニューデリー大会はジャワハルラル・ネール大学が主催します。概要は以下の通りです。

日時：2008年12月3～5日

場所：Convention Hall, Indira Gandhi National Open University (IGNOU), Maidan Garhi, New Delhi 110068,

INDIA

主催：Centre for Canadian, US and Latin American Studies, School of International Studies, Jawaharlal Nehru University, New Delhi 110067, INDIA

ホームページ：

<http://celao2008.com/index.html>

問合せ先：

Professor Priti Singh, School of International Studies, Jawaharlal Nehru University, New Delhi
celao@mail.jnu.ac.in,
celao2008@yahoo.com

なお、FIEALCの第14回大会は2009年にアテネで開催される予定です。CELAOの第4回大会も2010年開催予定です。ラテンアメリカ研究に限らず、さまざまな機会に研究上の国際交流を拡大していく必要はますます大きくなっています。日本からの研究者が積極的に世界のネットワークに参加することが重要であると考えます。(日本FIEALC/CELAO委員会(CJFC)委員長 小泉潤二)

5. 事務局から

I. お願い

- ・所属・住所等に変更が生じた場合は、速やかにその旨、事務局までご連絡ください。なお、その際、個人情報保護の観点から、会報掲載への可否を必ず付してご連絡ください。
- ・本学会メーリングリストに登録されているメールアドレスに変更があった際にも事務局までご連絡ください。戻ってくるメッセージが多数見受けられますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。
- ・新規にメーリングリストに登録をご希望の方も、メールアドレスを添え事務局までお知らせください。

II. 会員関係

Ⅲ 会員の仕事など（事務局宛送付分）

- 上智大学イベロアメリカ研究所「イベロアメリカ研究」第XXX巻第1号（2008年度前期）
- マリア・ロストラロフスキ（染田秀藤監訳）『征服者ピサロの娘 ドーニャ・フランシスカ・ピサロの生涯 1534-1598』世界思想社、2008年。

編集後記

今期『会報』編集委員会は、新木秀和会員に運営委員を委嘱いたしました。ラテンアメリカ関係新刊研究書への新木会員の目配りの良さは、つとに知られています。そのお力をお借りして、「新刊紹介」欄において会員の研究成果を中心に、これまで以上の情報提供を行う所存です。ページ数の関係で、本号には「新刊紹介」を掲載できませんでしたが、次号以降にご期待いただきたいと思います。

また、今期『会報』編集委員会は新たな試みを始めます。本学会の機関誌『ラテンアメリカ研究年報』には充実した書評が毎号掲載されています。しかし、書評を受けた書籍の著者からの反応を掲載する場がありません。『ラテンアメリカ研究年報』の原稿募集にも、著者としての反論、書評者からの再投稿などのカテゴリーがありません。しかし、会員間の適切な学問的論争は学会の生命線であり、その場を提供することは学会の責務のひとつと言えます。定期大会、各地区研究部会、『ラテンアメリカ研究年報』がそうした場であ

ることは申すまでもありませんが、『会報』もその役割の一端を担えないかと今期編集委員会は考えてきました。

そこでこのたび、『会報』編集委員会は理事会の承認を受け、最新刊の『ラテンアメリカ研究年報』で書評対象となった書籍の著者が希望する場合、『会報』編集委員会の責任において、著者の意見（場合によっては、それを受けての書評者の再論）を年3回発行の『会報』に掲載することにいたしました。研究書や書評には一定の鮮度があることから、手始めに『ラテンアメリカ研究年報』28号（2008年6月発行）掲載の書評3本について、著者に反論や意見表明の希望がある場合、著者ご自身から『会報』編集委員にご連絡をいただきたいと思います。広報や情報提供を主務とする『会報』の性格的・形式的制約もあり、長大な反論等は掲載困難ですが、著者の視点からの要を得たご意見を歓迎したいと思います。

（落合一泰）

会費納入のお願い

学会会費を未納の方は、下記の郵便振替口座にご送金願います。会則により、会費を連続して2年間、無届で滞納した場合は除名となる場合があります。

口座記号番号：00140-7-482043

加入者名：日本ラテンアメリカ学会

No.97

2008年11月28日発行

学会事務局

上智大学イベロアメリカ研究所

〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1

TEL 03-3238-3530

FAX 03-3238-3229

E-mail : tani-hi@sophia.ac.jp